

■著者紹介

水島 朝穂（みずしま・あさほ）

1953年生。早稲田大学大学院法学研究科単位取得退学

現在、早稲田大学法学学術院教授／法学博士

〔主要業績〕

『現代軍事法制の研究』（日本評論社、1995年）、『憲法「私」論』（小学館、2006年）、『時代を読む——新聞を読んで』（拓植書房新社、2009年）、『東日本大震災と憲法』（早稲田大学出版部、2012年）、『戦争とたたかう——憲法学者久田栄正のルソン戦体験』（岩波現代文庫、2013年）、『はじめての憲法教室』（集英社新書、2013年）ほか多数。

大前 治（おおまえ・おさむ）

1970年生。大阪大学法学部卒

現在、弁護士（大阪弁護士会）

〔主要業績〕

「特捜検事をなめるなよと恫喝した“エリート検事”の敗北」法と民主主義 2010年12月号、「被害申告の経緯を明らかにして勝ち取った無罪判決」季刊刑事弁護 2013年冬号、『続・痴漢冤罪の弁護』（現代人文社、2009年／共著）、『現代労働裁判の实践と課題』（旬報社、2008年／共著）、「『アンケート』という名のおそろべき『思想調査』」週刊金曜日 2012年2月24日号ほか。